

「Do you know 能？」第十弾

～ガイドなら一度は観ておきたい能楽～

2023年1月14日（土）実施 JGA 第一支部研修 終了レポート

JGAの能楽研修「Do you know 能？～ガイドなら一度は観ておきたい能楽～」は、国立能楽堂のご協力の下、多くの参加者にご好評をいただきながら、今回で10回目を迎えました。その中で、最初「ちょっと敷居が高いけど、ガイドなら一度は観ておかないと・・・」と参加された方が、「参加する度に新しい発見がある」と2度3度と参加されたり、本研修をきっかけに能楽ファンになられたり、といった嬉しい効果もありました。

1月14日（土）朝10時に、27名（正会員17名、非会員7名、運営委員3名）が国立能楽堂



に集まりました。遠くは北海道や石川県、奈良県からの参加者もいらっしゃいました。

研修は①講義、②午後の舞台解説と能舞台体験、③能楽舞台鑑賞の三部構成でした。

第一部・第二部では、喜多流シテ方能楽師で重要無形文化財の大島輝久師を講師にお迎え



し、国立能楽堂の羽鳥道成氏との対話に続き、講師による能楽のお話と午後の舞台の解説をお聞きしました。きりりとした美しい大島師が朗々としたお声で語られるお話がこれまた大変面白く、あっという間に全員が引き込まれてしまいました。



その後、師のご説明を受けながら能の謡や動きなどを練習し、そして、いよいよ白足袋を履いて研修生用能舞台上がります。そこには観客席からはなかなか想像できない世界が広がっていました。

休憩時間には、お食事処でお弁当をいただきながら交流したり、売店やポップアップのお店で面白い物を見つけたり、とそれぞれ自由に能楽堂を楽しみました。

午後の「舞台鑑賞」では、参加者全員で狂言「鞍（あかがり）」と能「船橋（ふなばし）」を鑑賞しました。今回は狂言、能ともに重要無形文化財の能楽師がシテを演じるという幸運に恵まれ、大変贅沢なひとときを参加者全員が堪能しました。各演目の内容については、午前の大島師のお話により、より深い理解や幅広い楽しみ方ができたのではと思います。

終了後、参加者からは「能楽師のお話がとても面白かった。ガイドに役立つヒントがあった」「体験があるのがとても良かった」「5時間とは思えない盛沢山な内容で大満足」などのお声が聞かれました。

